

# MBSアナ西靖さん、休む意義語る

男女共同参画週間の6月20日(土)、総合文化芸術センター別館

◎チラシ・写真あり

市は男女共同参画週間事業として、6月20日(土)午後2時～4時、「止まってみたら、見えたもの—男性育休の経験から考える支えあう社会—」と題して、毎日放送アナウンサーの西靖さんの講演会を総合文化芸術センター別館で開催する。三男の誕生を機に4カ月の育児休業を取得した西さんが「休むことの意義」を語る。人権政策課の担当者は「仕事や育児、日々の生活の中で休むことに悩んでいる人や、これからのライフスタイルを見直したい人などに参加してほしい」と話す。

★男女共同参画週間事業 毎日放送アナウンサー西靖さん講演

「止まってみたら、見えたもの—男性育休の経験から考える支え合う社会—」

日時など：6月20日(土)午後2時～4時(開場午後1時30分)、総合文化芸術センター別館。保育(生後6カ月以上の未就学児、先着5人)・手話通訳・要約筆記あり(いずれも6月5日までに要予約)。

申し込み：5月20日午前9時から市ホームページ専用フォームまたは電話(☎843・5636)、FAX(843・5637)で男女共生フロア・ウィルへ。先着150人。

★毎日放送アナウンサーの西靖さん(写真)は、岡山市生まれ。大阪大学法学部卒業後に毎日放送(MBS)に入社。「ちちんぷいぷい」や報道番組「VOICE」「NEWSミント!」を担当。現在はMBS総合編成局アナウンスセンター長。相愛大学客員教授、神戸女学院大学特別客員教授。著書に三男の誕生を機に取得した4カ月の育児休業の日々を綴った「おそろおそろ育休」(ミシマ社)など。



★国は「男女共同参画社会基本法」が公布・施行された平成11年6月23日に合わせ、毎年6月23日～29日を「男女共同参画週間」に定め、さまざまな取り組みを通じて同法の目的や基本理念について理解を深めることを目指している。市では、性別に関わりなく自分も他者も尊重し、違いを認め合い尊重し合える社会やワーク・ライフ・バランスについて考えてもらうため、男女共同参画週間事業として毎年講演会を開催している。

<お問い合わせ>

市長公室人権政策課

☎：072-841-1424 FAX：072-841-1700、メールアドレス：jinken@city.hirakata.osaka.jp

# 止まってみたら、見えたもの —男性育休の経験から考える支えあう社会—

参加費  
無料

講師：西 靖 さん  
(毎日放送アナウンサー)

1971年岡山市出身。大阪大学法学部卒業後に毎日放送（MBS）に入社。「ちちんぷいぷい」、報道番組「VOICE」「NEWSミント！」等を担当。現在はMBS総合編成局アナウンスセンター長。相愛大学客員教授、神戸女学院大学特別客員教授



育児休業を取得して感じた「休むことの意義」について、参加者の皆さまに新たな気づきやヒントをお届けします。ぜひ、この機会に育児や働き方について考えてみませんか。★講師への事前質問も募集します（6月4日×）

2026年 **6月20日**（土）14：00～16：00（13：30開場）

●会場 枚方市総合文化芸術センター別館 6階大会議室  
(旧メセナひらかた会館)

●定員 150名

●保育、手話通訳、要約筆記あり。

※保育は生後6か月～未就学児、先着5名

●申込方法

5月20日（水）午前9時から受付開始

下記専用フォーム、電話、FAXでウィルへお申込みください。

※保育、手話通訳、要約筆記は6月5日（金）午後5時半までに要申込み。保育希望は電話またはFAXのみで受付。

※FAXで申し込まれる場合は氏名、電話番号、講座名、手話通訳、要約筆記、保育の希望有無を明記してください。



お申込み・お問い合わせ先

枚方市男女共生フロア・ウィル  
〒573-0032 枚方市岡東町19-1ステーションヒル枚方6階  
TEL:072-843-5636 FAX:072-843-5637



←お申込みはこちら  
専用フォームから